



磐梯幼稚園 プール開き

発行／磐梯町議会
編集／議会広報委員会

3月定例会、4/15・7/1臨時会

* 国保税改正	2
* 補正予算・字の区域変更	3
* 臨時会・請願	4
* 一般質問	5～9
* みんなの声	10

6月定例会 国民健康保険税率の改定を可決



平成28年6月定例会は、9日から14日まで6日の会期で開かれました。
国保税率の改定や補正予算など町長提出の8議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。
また、一般質問には5人が登壇し、町政全般について当局の考えを質しました。

国民健康保険税条例を改定

国民健康保険税の税率改定は、前年分の所得金額・繰越金等の確定に伴い、税率の算定が行われました。

保険税額は、前年度と比較し医療分が増額となったが、支援分・介護分が減額となり、合計の税額は一人当たり7,106円の減額、一世帯当たり11,664円の減額となりました。

質疑

問 近隣市町村と比較して、税額は高いのか。

答 一人当たり8万円で、他町村より低い金額です。

問 平成30年に広域化されれば税額は安くなるのか。

答 県内の全市町村で算定されるので、増額になる見込みです。

問 今後、国保制度の見直しは、どのようなものか。

答 現在の税算定4方式から資産割を無くして、所得割・均等割・平等割の3方式に変えていきます。

国民健康保険税率

区分	医療分		支援分		介護分	
	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度
均等割	19,400円	20,500円	8,400円	7,200円	12,600円	9,900円
平等割	15,400円	15,600円	6,600円	5,500円	6,800円	5,100円
所得割	5.57%	5.28%	2.54%	1.87%	2.66%	1.85%
資産割	10.13%	6.39%	4.58%	2.26%	6.64%	3.23%
1人あたり税額	47,139円	49,673円	20,402円	17,514円	31,142円	24,390円
1世帯あたり税額	80,858円	84,027円	34,997円	29,627円	38,641円	29,178円

字の区域変更

七ツ森地区において、県営土田北地区農業農村基盤整備事業により、猪苗代町及び磐梯町の字の区域変更がなされました。

◆大字磐梯字七ツ森への編入区域

- ・ 大字磐根字北神送の一部
- ・ 大字更科字七ツ森の一部

◆大字更科字七ツ森への編入区域

- ・ 大字磐根字南神送の一部
- ・ 大字更科字磨上宮東の一部
- ・ 大字更科字村東の一部



編入区域の現地調査

補正予算の概要

主な質疑

一般会計

問 橋梁点検は、ある程度大きな橋を行うのか。

答 町道として、町が管理している29橋を点検します。なお、県道分は県が点検します。

問 歴まち事業の内容は何か。

答 歴史的建造物保存事業、建造物買い上げ事業、まちなみガイドライン策定事業の3事業です。平成28年度は、保存事業3棟、買い上げ事業1棟、まちなみガイドライン策定を計画しています。

問 歳入の社会資本総合整備交付金が多く交付された理由はなにか。

答 まちづくり交付金事業で計画したものは、確実に行ってほしいとのことでした。

問 ふれあいセンターの維持費は、年間いくらかかるのか。

答 維持費は、年間4、500万円位です。

国民健康保険特別会計

問 平成27年度の医療費が、前年度と比較し、減額した理由はなにか。

答 人工透析・がん・脳疾患・心疾患患者の減。また、一つの要因として、保健指導の効果も考えられます。

問 重病者により左右されるのか。

答 重症患者が増えれば、国保会計は圧迫されます。

問 町にとって、他医療機関よりも町医療センターを受診いただくほうがよいのか。

答 町から町医療センターへ支出している施設管理費の負担軽減につながります。



会 計	補正額	補正後の予算総額	主な内容
一 般 会 計	3億6,580万6千円	41億3,417万0千円	臨時福祉給付金・町道橋梁点検費・中学校周辺道路等整備費
国民健康保険	810万9千円	5億2,367万5千円	国保税・繰越金
簡 易 水 道	3万3千円	1,611万9千円	維持管理費
水 道 事 業	558万7千円	1億2,885万7千円	維持補修費
公 共 下 水 道	△445万3千円	1億2,807万9千円	維持管理費

請願

次の請願が採択されました。

採択2件

◆労働時間と解雇の規制強化を求める意見書の提出について
(会津地方労働組合総連合議長代行)

◆最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について
(会津地方労働組合総連合議長代行)

不採択2件

◆戦争法の廃止を求める意見書提出の請願
(磐梯町憲法九条の会)

◆川内原発一、二号機の稼働を直ちに停止することを要望する意見書を提出することを求める請願書
(磐梯町の子どもたちを放射能から守る会)

意見書

意見書2件が議員より提案され、可決された意見書は関係機関に送付されました。

可決

◆労働時間と解雇の規制強化を求める意見書の提出について

◆最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について

を 政 問 町 (一般質問) う (登壇順)

— 佐藤 淳 議員 —

1. 地方版総合戦略に掲げる「漢方の里」づくり構想について
2. 外国人観光客の受け入れ体制について

— 佐藤 貞夫 議員 —

1. 利便性の高い地域タクシーにするために
2. 町民の医療費等の負担軽減について

— 古川 忠明 議員 —

1. 町内での薬草栽培への取り組みについて

— 佐藤 孝則 議員 —

1. 集落の文化財保護について

— 小林 修治 議員 —

1. 全行政区における町政懇談会の開催について
2. 職員の「定員適正化計画」と増え続ける町嘱託職員等について
3. 買い物弱者支援事業関連について

臨時会 4月15日

◆パイプハウス等園芸施設(17棟)の取得
取得価格

2,519万6,400円

契約の相手

会津よつば農業協同組合

◆専決処分事項の承認

国民健康保険税条例等の一部を改正する条例

・課税限度額の見直し

・軽減判定所得の見直し

臨時会 7月1日

◆一般会計補正予算(第二号)

1,503万円を追加し、総額を41億4920万円と定める。

歳入の主なもの

・公共施設整備基金

323万円

・ゆめ夢基金

650万円

歳出の主なもの

・役場庁舎エレベータ設置事業

323万円

・スクールバス運行事業

650万円

・(仮称)更科グリーンスタジアム整備事業

952万円



— 佐 藤 淳 — 議員 —

「漢方の里」づくり構想について

(町長)

薬師信仰にねづいた事業として
次世代の農業収益増を目指していく

【質問】 地方版総合戦略に掲げている「薬草信仰にねづいた漢方の里づくり」の本計画に至った考え方、コンセプトについて問う。

次に、薬草づくりが高収益事業である理由と、技術的に難しい薬草づくりをどのように町民に周知し生産者を増やすのか。さらに、期待効果として①特産品開発②観光との相乗効果③国家戦略特区の活用を上げているが、その考え方について問う。

【町長】 地方創生事業は、先駆性が大きく問われており、史跡慧日寺跡を中核とした薬師信仰に根付いた事業として申請を行っています。

次に、収益性については、高齢化により膨れ上がる医療、介護費の切り札の一つとして漢方が注目を集めております。現在、約9割を中国から輸入していますが、価格が高騰しており、また、農林水産省からも国内生産量の拡大方針が示されており、このような背景から、農家の方々が直

接収入を実感できる対策の環境として、28年度は専門家による基本調査・研究を委託事業により実施し、結果を踏まえ町民や薬草栽培に意欲のある方々に周知を図り、生産組織を立ち上げ、事業推進を図りたいと考えております。

さらには、薬膳料理の開発などにも取り組み、PR効果を高めるとともに、薬師信仰と薬草の里をセールスポイントとした観光との相乗効果を図っていきます。

外国人観光客の受け入れ体制について

【質問】 全国外国人観光客宿泊数の東北割合はなんと0.9%、福島県は0.08%（全国46位）であり、この状況を打破するため、観光庁が「東北地方へのインバウンド推進による観光復興事業」約32億円もの予算計上を決定した。福島県も6月議会において、外国人誘客追加予算を計上予定である。町としても、いち

早く外国人観光客受け入れ整備を行うべきと考えるが、町長の考えを問う。

また、昨年冬、磐梯山温泉ホテルでは約700人泊のオーストラリア人観光客宿泊実績があり、今年は約2倍を目標にしている。オーストラリア人は滞在日数が長く、地域の歴史・文化や食に対して興味が高いとの話から、外国人に町内の魅力を伝える必要があると考えるが、道の駅ばんだいや冬期休館中の史跡慧日寺資料館などの連携について問う。

【町長】 町独自の外国人誘客事業は、道の駅ばんだいにおいて、ワイファイ環境強化や英語表記での情報提供、免税店導入などの事業を実施していく予定です。

さらに、観光庁推進の日本の奥の院、東北探訪ルート広域観光拠点の構成市町村に磐梯町も選定されており、今後も国や県が実施する外国人誘客事業の把握や広域連携を図りながら、外国人観光客の周

遊促進に努めていきます。

次に、2点目の町内施設連携は、受け入れ体制強化のため、磐梯山温泉ホテルやセツ森ペンションと町観光協会の連携を図り、多くの外国人観光客の受け入れに向け取り組んでいきます。

一方で、慧日寺資料館の冬期開館は、金堂内復元展示物整備にあわせて、専門家の意見を参考に検討を重ねていきます。



外国人観光客受け入れ打合せ

佐藤 貞夫 議員

料金5倍は誰も望まない！

(町長)

内容のグレードが違う



【質問】バスを10月から地域タクシーに切り替えるのは、

町民の利便性を高めるために行うのか、それとも財政上の理由からなのか、その動機を伺いたい。

【町長】高齢者がバス停まで行くのが大変なため、外出機会が減少しており、利便性が高く効率性のある交通体系が求められていることから、利用者のニーズに応えられる地域タクシーを導入することになりました。

【質問】

地域タクシーを利用する際の料金について、現在生活福祉バス利用者の料金は、子どもや70歳以上と障害者の方は無料、一般町民は100円である。制度が変わっても、極力利用者への負担増は避けるべきであるが、何円にしたいと考えているのか。

【町長】補助要件は、幹線と支線を結び運行するもので、予約制や乗降場所を指定した乗り合いタクシーです。補助額は、1年目が80万円、2年目以降は300万円の補助があり、不足分は過疎債を充てます。

【質問】

幼稚園児や保育所の子ども足の確保については、どのように対処するのか。

【町長】料金は、1人500円を基本とし、学生や70歳以上、身障者の方などは、割り引きするなど、詳細について決めていきます。

また、試験運行の中で、町民ニーズを的確に把握していきます。

【質問】

後期高齢者医療制度がスタートして8年、本来の低所得者保険料軽減制度に加え、「特例軽減」の予算措置がされてきたが、制度導入時に恒久的処置とされてきた制度について、29年度に改正する検討をしており、その対象者は865万人と被保険者の55%にあたり、人によっては5倍から10倍の値上がりとなるため、所得の少ない高齢者にとって大きく影響を受ける。この制度廃止を町長はいかように受け止めているのか。

【町長】当初は制度の移行期で、国保より高い軽減率でありましたが、公平性の観点から国保と同じくするように国で検討されています。

また、29年度を機に激変緩和措置を含めた考え方が示されており、社会保険と税の一体改革において、流動的でありますので、国の審議の経過を注視していきます。

医療費等の負担軽減について

【質問】国保の基金は、厚労省の指導で積み立てており、磐梯町の国保基金の一人当たりの残高は、9万6千円です。高齢者の年金支給が減少する中、国保加入者の負担の軽減をはかるため、基金を取り崩し有効に使つべきではないか。

【町長】財政健全化のために基金を運用し、緊急時における医療費の値上げや流行り病の備えとして、必要と考えています。



町総合健診

— 古 川 忠 明 議員 —

漢方の里づくりについて

(町長)

新たなまちづくりの礎となるべく進めていく

【質問】カンゾウなどの薬草は国内の需要は大きいが生産量が少なく、大半が中国などからの輸入に頼っているのが現状である。しかし、中国国内の需要の増大による価格高騰、輸出制限や品質の悪化、不安定さにより、国内生産の増加が熱望されている。

さらに、磐梯町も薬草栽培をしたいとの農家があり、町長も薬草栽培について全員協議会などで何度も発言しているが、町としての具体的な取り組みを問う。

会津には御薬園があり、薬用ニンジンなどの栽培、研究の歴史がある。そして慧日寺の御本尊である薬師瑠璃光如来は、瑠璃光をもって衆生の病苦を救う仏様であり、薬草栽培は磐梯町にこそふさわしい産業だと考える。何より耕作放棄地や休耕田の有効活用になるし、手間もかからないなど、薬草栽培には初期投資が少ない利点もある。

また、製薬会社など企業誘致や6次化産業として発展させることもできるものと考え

る。たとえばキノコ類も薬用効果があり、キクラゲやシロキクラゲの菌床栽培も国内生産の増大が望まれている現状がある。これらは薬膳料理やスイーツなどで6次化産業も可能性があるが、町としてこれからの展望を伺う。



薬用人参

薬草栽培の調査・研究と体制を構築し、土づくりから始め、最終的には製薬メーカーとの契約栽培になることが理想型と認識しております。

薬草栽培技術と生産体系の構築から始まり、薬草を用いた特産品開発、観光交流拠点としての道の駅の機能強化につなげることににより、薬師信仰に根付いた薬草の里づくりが確立され、新たなまちづくりの礎が築かれることと思っております。

【町長】漢方薬の原料となる薬草の需要が高まっていることから、町としては、地方創生事業により薬草の里づくり事業に取り組み、農業所得の向上につながる薬草栽培の導入を図りたいと考えております。同時に薬草栽培により耕作放棄地解消の一助となればと思っております。

今年度は、磐梯町に適した



せき止めなどに用いるキキョウ



利尿・高血圧予防に用いるドクダミ



佐藤 孝 則 議員

集落の神社仏閣を保護すべき

(町長)

指定を受けた文化財以外の公的支援は困難

いく観点からも専門知識を持つ有識者の方々に歴史的価値の評価やご意見などをいただきながら地域に残る文化財について調査・研究等を進めてまいり、町文化財の指定に結び付け、支援をし、町全体が歴史文化の薫るまちづくりにつなげてまいりたいと考えております。

【質問】各集落とも、やや限界集落になってきているのが現状です。

少子高齢化になり若者世代がいなく、各家庭の所得も少なくなってきました。

その中で、各集落にある神社仏閣等その地域の歴史とともに長年守り続けてきたものが多数あります。

しかし、集落の人口が少なくなってきた今、その維持費の負担が重くなってきました。

先人が残してくれたものを守っていくことは大変大事です。

今こそ史跡慧日寺を中心として各集落にある神社仏閣等を含め、会津仏教文化発祥の地のこの磐梯町の層の厚さを全

国に発信すべきと考えています。

町は集落の神社仏閣等の文化財保護をどのようにすべきと考えているか町長に伺います。

【町長】町では、文化財の適正な保存管理とその活用を図り、町民の文化向上に資することを目的とし、文化財の管理や修理について、その経費の一部を補助しております。

ただし、その補助の対象となる文化財としては、国

や県又は町の指定を受けた文化財に限られており、各集落内に存在する神社仏閣の維持修繕に関しましては、文化財に指定されていない場合は、公的な支援は非常に困難な状



改修後の薬師堂



屋根改修後の龍宝寺

況であります。

なお、町といたしましても、少子高齢化などによる影響も理解をしているところであり、大切な地域の伝統や文化、文化財、コミュニティを守って



— 小林 修治 議員 —

町政懇談会を行う考えはあるのか

(町長)

適宜懇談会を開催したいと考えている

【質問】今年、全行政区に向いて町政懇談会を行なう考えがあるのか。

また、五十嵐町長の過去4期13年間の実績において、全行政区対象の開催回数はどうであったのか。

その際に出された質疑応答や要望等のうち、懸案事項としてまだ今後対応しなければならぬという課題等は何件くらい残っているか。

【町長】町長に就任してからの4期13年間で記録が残っているもので、懇談会は5回開催しています。

現在、懸案事項となっているものは、記録が残っているものとして19件です。

今後、時期、事案等を考慮しながら、適宜懇談会を開催してまいりたいと考えています。

職員の「定員適正化計画」と増え続ける町嘱託職員等について

【質問】町の定員適正化計画の内容とその進捗状況は、どのように管理に努めているのか。

【町長】定員適正化計画に取り組み、最終目標77名に対し、実績73名と目標を大幅に上回る、職員削減を行ってきました。

主に用務員や業務に豊富な知識及び資格等を有する者を、



本寺地区の懇談会

緊急時に適切な対応ができる職員の育成が、最も重要であると考えています。

買い物弱者支援事業関連について

【質問】利便性を図るため、秋に試行的に導入する地域タクシーは国土交通省との指導・検討の結果、その内容はどのようなになっているのか。

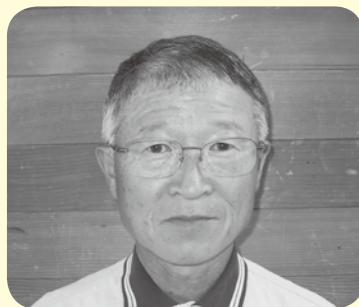
【町長】地域タクシーは、10月1日からの試験運行に向け準備を進めています。

これまで、国土交通省・旅客自動車運送業者・利用者代表等で構成する磐梯町地域公共交通会議を2回開催しており、町で提示した運行計画に対し、ご意見をいただき調整を図ってきました。

試験運行期間中においても、利用者のご意見・要望等を聴取しながら、最善、最良の運行形態を模索してまいりたいと考えています。

居住地の区分にかかわらず、

みんなの声



妙法原区長

高埜 直文さん

平成25年度に区長になりました。本年度で4年目になりました。昨年の区長研修では、宮城県多賀城市の市役所を訪問し、担当の方に陸奥の国の国府でありました、多賀城史跡を案内していただきました。

磐梯町の慧日寺史跡のように建物はなく、礎石や石段のみでしたが、歴史好きの私には大変興味深く見学してきました。担当の方の話の中に、慧日寺史跡は復元された金堂、中門、さらには資料館まであり本当に

すばらしい、といった言葉もありました。話を慧日寺史跡に移しますと、薬師如来像を作成中とのこと。

また、歴史的風致維持向上計画ということで、本寺地区の景観が門前町風に改修されていくと聞いております。

全国の方、また外国の方にも慧日寺史跡を訪れ、仏教文化、地域の歴史にふれて感動を味わっていただきたいと思います。

私個人の希望として

は、この史跡の中に、慧日寺資料館と似たものとなつてしまいかもしれませんが、図書館と、そこに併設した歴史館、または民俗資料館をつくり、歴史的書物から、古代からの一般生活用具など展示している施設があれば、歴史的町づくりにより良いものになると思います。歴史的風致維持向上計画の進み具合に期待しております。

また、町内道路の美化を図り、道路わきにポイ捨てなどのゴミのない道路にし、他市町村の方々から、磐梯町はゴミのないきれいな道路だといわれるようになっていけば、より良い町になると思います。

今後の磐梯町の発展を期待しております。



ご意見ご要望をお寄せください

☎ 74-1219 Fax 73-4301

E-mail: bandai-gikai@town.bandai.fukushima.jp

磐梯町議会事務局

【お詫びと訂正】

議会だより第225号に誤りがありましたので、お知らせいたします。

【訂正箇所】 5 ページ／人事
【訂正内容】

誤…教育長の任期は、4月

2日から4年です。

正…教育長の任期は、4月

2日から3年です。

関係者各位及び読者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

編集後記

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました。

これにより、未来をつくり担う存在の10代にも、より町政に参画して社会の担い手であるという自覚を持ち、主体的に町政に関わる若者が増えてほしいものです。

議員も自覚を持ち、町民の声を町政に届けていきたいと思っております。

(文責 佐藤孝則)

議会だより

発行責任者

議長 鈴木久一

広報委員会

委員長 佐藤淳一

副委員長 佐藤孝則

委員 佐藤貞夫

委員 齋藤 博